

医療法人社団博栄会

赤羽中央総合病院・東京シニアケアセンター赤羽 完成

東京都北区長 花川 與惣太



新たな地域医療・福祉の核に

博栄会 赤羽中央総合病院ならびに東京シニアケアセンター赤羽が開院の運びとなりましたこと、心よりお祝い申し上げます。

赤羽中央総合病院は、これまで地域拠点病院として区民の医療、介護を支えていただいております。感謝申し上げます。新病院は、ER(救急科)、婦人科、小児科などを新設するとともに、介護老人保健施設「東京シニアケアセンター赤羽」を併設し、区民要望の高い医療や福祉の充実を図っていただいたことは、区民の大きな安心につながるものと期待しています。

北区では、介護と医療の連携による地域包括ケアシステムの構築、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援に取り組んでいます。これらの施策を進めるためにも、赤羽中央総合病院のお力は、大きいものと確信しています。

結びに、博栄会 赤羽中央総合病院ならびに東京シニアケアセンター赤羽のますますのご発展をご祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

東京都北区で、医療法人社団博栄会が建設を進めていた赤羽中央総合病院・東京シニアケアセンター赤羽が完成し、きょう10月1日に開業する。地上7階の建物は病院と介護老人保健施設で構成する複合医療施設となった。病床の増設や新たな診療科の設置などにより、さらなる高度で細やかな医療・看護・福祉サービスの提供を目指す。設計は横河建築設計事務所、施工は鉄建建設がそれぞれ担当した。

きょう10月1日開院



外観写真提供：株式会社日暮写真事務所



医療法人社団博栄会 理事長CEO

朝倉 正博

高度で細やかな医療を提供

医療法人社団 博栄会 赤羽中央総合病院・東京シニアケアセンター赤羽が2021年10月1日に遅延なく開院する運びとなりました。これもひとえに地域の方々をはじめ皆様のご支援ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

赤羽中央総合病院(急性期104床・地域包括病床50床・療養病床45床 合計199床)介護老人保健施設東京シニアケアセンター赤羽(入所者100床・デイケア50名/日)が併設、保育園(1にじいろ保育園志茂)も敷地内に設置されている都内初の『未来型複合施設』です。

建物は木々の緑があふれ優しい光が差し、患者様を包み込む様な安らぎを感じられる広い空間の造りとなっております。

また、高度化する救急医療への対応へはER(救急科)も新設し、またハイブリッド型のカテ室や手術支援ロボットなどを新規に導入した最新の医療機器をはじめ、集中治療室や感染症に対応可能な病室も設置致しました。

「愛と奉仕」の運営理念のもと、地域の皆様に住み慣れた土地で、さらに高度で細やかな医療・看護・福祉サービスを、全職員一丸となって取り組んでいきたいと思っております。

設計コンセプト

新病院は「Uniqueness(あの病院は違う)」「Goodness(あの病院は良い)」「Nobleness(あの病院は品がある)」の3つの柱を基本構想に、患者さんが親しみやすく、安心して診療を受けられると同時に、従来の病院らしさを感じさせない品のある病院を目指し、介護老人保健施設や保育所を併設することで、病院と福祉の密な連携が可能な複合施設を構築しました。

親しみやすく品のあるデザイン

1階には患者さんのほか、病院を利用しない方も自由に利用できるコミュニティスペースを設けました。エントランスに隣接して、講演会や催しに利用できる「つどいの広場」やエントランスと一体的に利用できるコミュニティスペース、シンボルツリーやせせらぎのある落ち着いた中庭「つどいの庭」を設けることで、新たな地域住人の交流の場を提供しました。

2階は主な外来診療部門を集約させ、ワンループ外来とした分かりやすく機能的な外来としました。

4階の介護老人保健施設は食堂等をオープンスペースとし中庭に面することで、明るく見通しの良い空間としました。

5・6階の病棟は病室中央にスタッフステーションを設け、端部にスタッフコーナーを配置することでスタッフにとっては見守りやすく、患者さんにとっても安心感のある療養環境を実現しました。

災害時の対応として、浸水地域に位置するため屋上に電気設備等を設置し、水害時でも医療機能を維持できるようにしました。

最後になりますが、コロナ禍において、病院様、工事関係者の皆様のご協力のもと、無事竣工を迎えることができましたこと、心より感謝申し上げます。

株式会社横河建築設計事務所 設計室 主任技師 泉谷 直樹

未来志向の複合医療施設誕生



病室(特別個室)



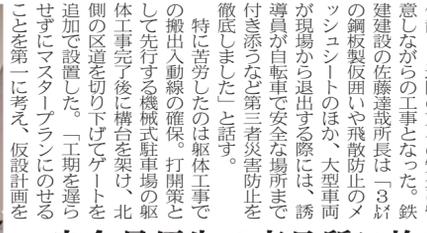
カテ室



ICU集中治療室



コミュニティーホール



展望浴室



リハビリテーションセンター

病室(4床室)

施工のポイント

現場は北区志茂一丁目の旧赤羽中学校跡地。住宅の真ん中に位置し、近隣の方々の安全に留意しながらの工事となった。鉄建建設の佐藤達哉所長は「3階の鋼板製仮囲いや飛散防止のメッシュのほか、大型車両が現場から退出する際には、誘導員が自車で安全な場所まで付き添うなど第三者災害防止を徹底しました」と話す。

特に苦労したのは躯体工事での搬入動線の確保。打開策として先行する機械式駐車場の躯体工事完了後に構台を架け、北側の区道を切り下げてゲートを追加で設置した。「工期を遅らせずにマスタープランにのせることを第一に考え、仮設計画を

安全最優先で高品質に施工

作成しました」と工事を振り返り、指摘もなく、高品質な施工を実現した。軟弱地盤の敷地のため、基礎工事で場所打ち杭工法で約32型のコンクリートコアを打設。コアを一日に二区ずつ四回の打設で広大な床面積に対応した。また、鋼板製仮囲いや飛散防止のメッシュの設置、大型車両の誘導員による安全確保、第三者災害防止の徹底など、安全最優先で高品質な施工を実現した。

Table with project details: 工事名称, 工事場所, 建築主, 設計監理, 施工, 敷地面積, 建築面積, 延床面積, 階数, 構造, 工期

Advertisement for Yokogawa Architects & Engineers, Inc. and Tekken Construction Co., Ltd. including contact information and a list of affiliated companies.